

令和3年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価			
I 文化事業目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価		
1 文化事業目標	1 施設の特性を活かした事業や地域と一体となった事業展開	● オープンデー ①年1回実施(2月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①1回実施 ②3件以上 ③80%以上	①2回実施 ②3件 ③99%	A B A	・コロナ禍ではありましたが、規模を縮小し開催いたしました。地域ボランティアにご協力いただきました、恒例の塔屋ツアーも感染予防対策を施行しました。	【成果】 ・継続発展事業については今年度も関係者と連携を強化し改善に繋がりました。 ・新規事業の企画にあたっては、利用者の方にご協力いただき、建築年を迎えた記念館に合わせ「大倉山音楽祭」として、年間通じ企画しました。 ・「オープンデー」開催では、記念館の文化的価値と、利用施設としての特徴を、改めて周知する機会となった。地元で活動する港北ボランティアガイドの皆様のご協力でご館の魅力を紹介するツアーガイドが人気コンテンツとして定着し、また利用者のみならずの公募により集会室でコンサートを開催するなど、記念館がどのような場所かを周知し、地域への理解を深め、利用者との繋がりを深めることが出来た。「教えて町の先生」はコロナ禍もあり規模縮小で行いました。 ・記念館のイベントにおいてフラワーアレンジメント教室の定期開催を通じ、文化活動への参加機会を設けた。講師主催の教室に引き継がれ、次年度も継続していく共に、指定管理者の特性を活かし、「切り花のアレンジ講習」「コンテナプランツ制作」など幅を広げてゆきたい。	【評価できる点】 ・「オープンデー」「小さな丘のメリークリスマス」等、地域のコミュニティや利用者や連携して施設の魅力を紹介するなど、地域における施設のプレゼンス向上に寄与する取組を評価します。 ・「フラワーアレンジメント教室」など、指定管理者の強みを活かし、施設を幅広い市民の方の文化活動の場として提供していることを評価しました。 ・撮影利用を積極的に誘致・対応することで、多くの撮影実績を上げていることを確認します。 ・WEBサイトを作成することで、情報の発信・利便性の向上に取り組んだことを確認しました。	
		● 観梅会開催時の館内装飾 ①□年1回実施(2~3月) ②□WEBサイトやSNS等での自主的な発信3件以上	①1回実施 ②3件以上	①1回実施 ②3件	B B	- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、観梅会は中止となりましたが、少しでも季節を感じていただきたいと考え、館内装飾として階段下と各女子トイレに梅の切り花を飾りました。			
		● イルミネーション&ライトアップ ①年1回実施(12~1月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③ライトアップ観覧者総数	①実施 ②3件以上 ③1,000名以上	①実施 ②3件 1265名	B B A	・今年はイルミネーションは取りやめ、クリスマス・冬をイメージした白枝のオブジェを正面 柱に施しました。来館いただいた方々には、「変わった趣向で面白い」「省エネ」等 高評価をいただきました。人数は期間中のご利用人数及び週末来館数にて総数としました			
		● 横浜市芸術文化教育プラットフォームへの参画 ○学校プログラムの実施	3校以上	3校	B	・計画同様、施工学校数は3校でした。それぞれ、記念館のご利用者様にお声がけし、ご協力いただきました。なかでもアルパを中心とした講義では、あまり触れることがない楽器だった為、大変楽しんでいただくことができました。			
		● 地域施設への出張授業 □年1回実施(9月)	①1回実施	未実施	-	・コロナ禍の為、未実施			
		□アンケート結果満足度80%以上 □WEBサイトやSNS等での自主的な発信: 1件以上	②満足度80%以上 ③1件以上	- -	- -	- -			
	2 出張事業(アウトリーチ)を積極的に実施	● 室内楽シリーズ ①年1回実施(10月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①1回実施 ②3件以上 ③80%以上	①1回実施 ②3件 ③98%	B B A	・港北区交響楽団コンサート開催	・四季折々の、花の装飾(正面玄関階段両サイド)や教室を通じて、花の芸術分野による付加価値を創造した。特に、催事に合わせて拡大して行った正面玄関の装飾は、来館のみならずおもてなしの気持ちをお伝えでき、大変高評価を頂きました。 ・出張授業では、記念館を日頃ご利用のプロミュージシャンにお声掛けし、記念館でご活躍の方を積極的にご紹介した。地域という共通の枠組みを通じて、小学生のみならず、世界の音楽への道をより身近に感じられる機会とした。学校からの要望でもある演劇においても回数増での開催と、好評を得ることが出来た。 ・子どもフェスティバルやのんびるフェスタといった親子の催しへの協力を通じ、0歳児から小学校低学年ぐらゐの親子層へ、記念館を紹介する機会としました。	【更なる取組を期待する点】 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、縮小・中止した地域団体との事業について、文化活動及び関係性の継続に向けて取組を続けることを期待します。 ・横浜市指定有形文化財である大倉山記念館の魅力や歴史について、ガイドツアーや大倉精神文化研究所との協力事業等による発信に引き続き取り組むとともに、より広域への認知度向上に寄与することを期待します。 ・撮影利用については、目標を越える件数を受注出ています。引き続き、認知度向上や利用者の増加に向けてさらなる取組を実施することを期待します。 ・ウェディングフォトは施設の魅力を発信するための良い機会になると考えます。安全面や他の貸室利用者に配慮し、実施に向けた取組を継続してください。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で未実施となったサークルラウンジについては、状況を見ながら実施に向けた検討を進めるとともに、交流活動について引き続き検討してください。	
		● 大倉山記念館・第9回高校生ギャラリー&ミュージックフェスタ ①年1回実施(1月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①実施 ②3件以上 ③80%以上	未実施 - -	- - -	・毎年近隣、関係者に大変高評価を受けている高校教育の一環としても学校側に承認されている事業でしたが、12月まで準備を進め、ミーティングも3回行いましたが、校長会の判断で、「コロナのため中止」となりました。生徒の皆さんのためにも4年度は実施したいと考えております。			
		● 大倉山記念館「落語会」 ①年1回開催(12月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①1回開催 ②3件以上 ③80%以上	①1回開催 ②3件 ③93%	B B A	・本年は新春落語として開催(1月)としました。ホールで開催し、ステージにはシールド施工、演者からお客様までの距離を2M以上取り、ご来場者様には手指の消毒・マスクの着用を徹底していただき、万全の体制で開催いたしました。			
		● とも映画祭 ①年1回実施(12月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①1回実施 ②3件以上 ③80%以上	①1回実施 ②3件 ③100%	B B A	・人気のある事業ですが、コロナ禍での人数制限もあり、完全予約制としましたが、すぐ制限人数に達してしまい、「枠を広げてほしい」などのご意見もいただきました。ご来場者様にはお土産として、公園の松ぼっくりを利用した「クリスマス風ドーナツフラワー」をプレゼントさせていただきました。昨年大好評だった為、未就学児の方々はマットを敷いた上で鑑賞できる工夫をした主催者の判断で、開催見送りとなりました。			
		● 白山高校美術コース作品展 ①年1回実施(8月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①実施 ②80%以上	未実施 -	- -	・今年は「ダンスダンスダンス」への参加となり、ギャラリーを4分割し、3日間にわたり、総勢12組のパフォーマーによる演技が披露され、お客様にはお気に入りのパフォーマンスを有料で見させていただきました。			
		● 横浜市プログラム「トリエンナーレ」への参画 □年1回実施(8月)	1回実施	1回実施	B	・今年「ダンスダンスダンス」への参加となり、ギャラリーを4分割し、3日間にわたり、総勢12組のパフォーマーによる演技が披露され、お客様にはお気に入りのパフォーマンスを有料で見させていただきました。			
	1 文化芸術の鑑賞、創作活動の機会の提供及び地域コミュニティの形成・社会的包摂(ソーシャルインクルージョン)を推進します。	4 子育て支援プロジェクトの立ち上げ、運営	● とも映画祭 ①年1回実施(12月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①1回実施 ②3件以上 ③80%以上	①1回実施 ②3件 ③100%	B B A	・今年「ダンスダンスダンス」への参加となり、ギャラリーを4分割し、3日間にわたり、総勢12組のパフォーマーによる演技が披露され、お客様にはお気に入りのパフォーマンスを有料で見させていただきました。	【課題】 ・引き続き既存事業については、共催者との連携協議の上、より良い成果に繋がるよう、記念館として適切な協力をしていきたい。 ・今回開催を見合わせたサークルラウンジは時間をかけ定着させていきたい。ご利用者・団体様のアンケートの実施により具体的な要望等を把握、そして必要に応じたサークルラウンジの活用を検討して利用者同士のより気軽な交流に繋げていく場として考えていきます。	
		5 地域の若手アーティストや新しい大倉山ブランドの育成・発信	● 白山高校美術コース作品展 ①年1回実施(8月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①実施 ②80%以上	未実施 -	- -	・今年「ダンスダンスダンス」への参加となり、ギャラリーを4分割し、3日間にわたり、総勢12組のパフォーマーによる演技が披露され、お客様にはお気に入りのパフォーマンスを有料で見させていただきました。		
		6 横浜市の「先進的な文化芸術」と「地域の文化芸術」の接点を創る	● 横浜市プログラム「トリエンナーレ」への参画 □年1回実施(8月)	1回実施	1回実施	B	・今年「ダンスダンスダンス」への参加となり、ギャラリーを4分割し、3日間にわたり、総勢12組のパフォーマーによる演技が披露され、お客様にはお気に入りのパフォーマンスを有料で見させていただきました。		

令和3年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

7	文化芸術活動に関わりたい方と発信したい方をつなぐ	●文化芸術活動の支援講座 ①年5回以上開催(5月～) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信	①5回以上開催 ②3件以上	①2回実施 ②3件	C -	・オープンデー、秋の芸術祭にて行いました。
		●サークルラウンジの開設 利用状況を把握しながら、段階的に実施 □通年(5月～)	実施	未実施	-	・コロナ禍のため開催を見合わせました。
8	定期開催事業や長期事業を展開し、教養や文化の向上とリピーター化を推進	●第7回大倉山記念館「ワークショップ」(Artsワークショップ) 「初めての楽器体験」 ①年1回(教室回数6回)実施(5～6月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①実施 ②3件以上 ③80%以上	未実施 - -	- - -	・コロナ禍のため開催を見合わせました。 ・プラットフォーム事業にて実施
		●大倉山スタンブラー ①実施 ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信	①1回以上実施 ②3件以上	未実施 -	- -	・コロナ禍のため開催を見合わせました。
		●大倉山スプリングジャズフェスタ ①年1回実施(2～3月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①1回実施 ②3件以上 ③80%以上	①1回実施 ②3件 ③80%	B B B	・「大倉山音楽祭 聞楽亭ジャズコンサート」として3月に開催
10	大倉山地域の文化を発信、交流する場を開く	●夏のオープンギャラリー ①年1回実施(8月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①1回実施 ②3件以上 ③80%	①1回実施 ②3件 ③100%	B B A	・コロナ禍ではありましたが、規模を縮小し開催いたしました。地域ボランティアにご協力いただきました。恒例の塔屋ツアーも感染予防対策を施行しました。
		●国際学生交流会(ハーバード) ①年1回実施(6月)	①1回実施	①1回実施	-	・コロナ禍のため、先方判断で開催を見合わせました。
		●季節のフラワーアレンジメント教室 ①年6回以上開催(4月～) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①6回以上開催 ②3件以上 ③80%以上	①6回開催 ②3件 ③100%	B B A	・毎回大変好評でキャンセル待ちの状態が毎回であり、今後も継続しておこなっていきたい
11	強みやノウハウを最大限活かす	●大倉山寄り道コンサート《大倉山サロン》 ①年4回以上開催(9月～) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①4回以上開催 ②3件以上 ③80%以上	①未開催 - -	- - -	・コロナ禍のため未開催、令和4年度より再開予定

令和3年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

2 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成及び文化的コモンズ形成を牽引します。	1	地域住民や町内会、学校、近隣施設等との積極的な協働を推進する	●ボランティア養成講座検討会 □検討会開催:年1回以上 ●ハニーカフェ&マルシェ □実施:年2回以上 ●ICTを活用した地域回遊イベント □実施:年1回以上	1回以上開催 2回以上開催 1回以上開催	未開催 未開催 未開催	- - -	・コロナ禍のため未開催 ・コロナ禍のため未開催 ・コロナ禍のため未開催
	2	既存の協働の継続と新たな事業展開により、今まで以上に協働を活性化させ、協働と交流の輪を広げる	●大倉山公園愛護会の活動への協力 ①大倉山公園愛護会による花の苗植え活動の継続と発展 植え付けおよびお手入れ活動 ②花のタネの配布 ●大倉山ジョイフルコンサート ①年6回実施(30年5月・7月・9月・11月/31年1月・3月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①4回以上実施 ②1回実施 ①6回実施 ②80%以上	①9回実施 ②1回実施 未開催 未開催	A B - -	・花の苗植えと雑草除去の合計回数になります ・植え替え時入れ替えた花苗を選んでいただきお持ち帰りいただいた。 ・コロナ禍でホールの換気が不安なため、港北区公会堂へ会場変更
	3	運営方法や事業の実施効果の検証に皆様の声を取り入れる	●大倉山ミーティング(利用者懇談会)の開催 □年2回以上開催	2回以上開催	未開催	-	・コロナ禍の影響で未開催となった。
	4	大倉精神文化研究所や大倉山公園をはじめ、近隣施設・地域団体等とのネットワーク構築につとめ、文化的コモンズの形成を進めるとともに、文化芸術活動を通じた地域連携活動を展開する	●『おしえて!まちの先生』提供します。 ①年1回実施(1月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 ○大倉山講演会 ①年4回実施(3~7月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 ○小さな丘のメリークリスマス ①年1回実施(12月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①1回以上実施 ②3件以上 ③80%以上 ①4回実施 ②80%以上 ①1回以上実施 ②80%以上	①1回実施 ②3件 ③99% ①4回実施 ②87% ①1回実施 ②99%	B B A B B B A	・港北区役所地域振興課に登録している港北区内の先生方と記念館にて事業を行い、様々な項目にて来館者の参加を促すことが出来た ・大倉精神文化研究所との連携により事業を行いました。 ・規模を縮小し、ギャラリーのみで開催・フリーマーケットと公園内の松ぼっくりなどを利用したオーナメント作成ワークショップを行った。
	5	人材育成活動に積極的に取り組む	●文化芸術活動団体の施設WEBサイトでの紹介 利用頻度の高い施設や地域で活動する団体を中心に段階的に展開 □紹介団体:3団体以上	3団体以上	未実施	-	コロナ禍の為、紹介出来なかった
	6	文化芸術の専門的な知見と経験を有するとともに、地域の多様な主体とネットワークを築く専門性と、コーディネート能力を持った人材によって文化的コモンズの形成を牽引する	○大倉山秋の芸術祭(11月) ①年1回実施(11月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①1回以上実施 ②80%以上	①1回実施 ②93%	B A	・例年よりも規模を縮小し開催。
	7	施設と地域が培ってきたものを継承しながら、資源やネットワークをさらに活かし、時代に適した、これからの地域文化拠点として相応しい施設を目指す	○大倉山子どもフェスティバル ①年1回実施(5月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 ○「大倉山ドキュメンタリー映画祭」 ①年1回実施(3月) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①1回以上実施 ②80%以上 ①1回以上実施 ②80%以上	未開催 - 未実施 -	- - - -	・コロナ禍で、実行委員会判断で開催見合わせ ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催中止
	8	文化的コモンズ形成のために、文化施設として求められる専門性と、地域の顔として求められる多様な役割を両立するため、この役割を担う多様なコーディネーターを育成し、協働を推進	○市内の他の文化施設や文化団体等との連携事業 ①年1回以上(10月~) ②来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	①1回以上実施 ②80%以上	①1回実施 ②90%	B A	オープンデー開催時、ギャラリーにて、大倉精神文化研究所様・鶴見川流域センター様による展示を行いました。

【成果】
・継続発展の共催事業を着実に実施し、各共催団体との協力関係を構築しました。各共催事業を通じた記念館の運営や備品・設備に対するご意見を都度拝聴・協議し運営に反映させ、年々ステップアップし、より良いものになるよう努力しました。

【課題】
・各共催団体の性質の違い、目的の違いをよく理解し事業の実施に対して地域のボランティアの方々が動きやすいことを第一に、業務を組み立て、的確に協力要請を行っていく必要があります。

・コロナで中止した、ハニーカフェ&マルシェは、コロナ収束後、自主事業の要として、場所を無料で貸し、売り上げの何パーセントかを頂戴するスタイルで、主催者・記念館どちらも収益確保に繋がるよう、利用者のニーズを考え検討してゆきたい。

・港区内施設間の連携、取り組みを強化し、利用者の利便性が向上するサービスに努めイベントの開催に繋げて行きたい。他施設におけるイベントの視察・見学させていただき、記念館での利用者ニーズとすり合わせ、取り入れられる事業は積極的に取り入れ、ご利用者様に楽しんでいただける事業を行ってゆきたいと考えます。

令和3年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

3 建築物としての保存、管理及び価値の普及並びに市民の円滑な施設利用の促進を図ります。	1	施設の価値と保全の必要性を体感・体験できるイベントや事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●ガイドツアー (1)施設見学プログラムの実施 ①施設見学ツアー参加:希望校に対応 (2)観梅会や大倉山オープンヘリテイジなどの市内イベント開催時のガイドツアー ②年12回開催 ③WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ④来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 	①希望校に対応	未対応	-	コロナ禍で希望校がなく、開催しませんでした。オープンデー開催時、一般のお客様に対し、地域ボランティアにご協力いただき、館内ガイドツアーを行いました。	【成果】 ・取材への対応や撮影の対応を通じて、大倉山記念館の文化財としての価値を普及する機会を得たことで、広く大倉山記念館の存在をアピールできた。
	2	利用者・地域住民などととも「大倉山記念館利用ルール」を策定し、広く告知するとともに、遵守を徹底	<ul style="list-style-type: none"> ●関係団体との連携による文化財の保護 ①修繕を実施する際は、横浜市歴史資産調査会(ヨコハマヘリテイジ)監修のもと、その内容について可能な限り情報を開示 ②当グループが管理運営する他の文化財施設や全国の文化財施設との連携を深め、情報共有・情報交換を行う 	①実施	①実施	-	改修が必要な案件は、すべて横浜市に相談させていただきましたが、実際の施工はありませんでした。	・撮影に関しては、目標件数を達成できました。対応においても利用者様との調整・ご理解を賜り、トラブル防止に努め、満足いく撮影をして頂けたと考えます。またウエディングフォトロケーションという観点からは、指定管理者の新規事業と歩調をそろえ、フォトウエディングを集会室での音楽練習など音の影響を受けない、受注に結びつきやすい、収益のチャンスととらえ、今後の撮影の柱として注力してゆきたいと考えます。
	3	地域のシンボルとして、メディアの撮影や、一般向けウエディングロケ地として活用し、施設と地域のイメージアップに貢献する	<ul style="list-style-type: none"> ●撮影・ロケの積極的な誘致 ①メディア撮影・ロケへの協力・撮影協力 ②協力会社やロケ地コーディネート会社への積極的な情報の開示 ③ウエディングフォトロケーションとしての活用・撮影協力 	①35件	①40件	A	・件数は達成できているが、高単価のドラマロケなどの受注ができていないため、収納拡大には結びついておりません。	【課題】 ・好評である館内見学ガイドツアーを継続して行えるボランティアガイドの育成。特に、ボランティアガイドの高齢化に伴う後任探しが課題と考えます。
	4	地域住民・連携先とともに公園と地域のにぎわいを演出	<ul style="list-style-type: none"> ●大倉山記念館 花めぐり ①年1回以上開催(3月) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③参加者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 	①1回以上開催	未開催	-	・コロナ禍のため未開催	・館内見学においては、人気の塔屋ツアーを継続的に行うようにしていきたい。
	5	当施設だけでなく、地域全体の保存と活用を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ●今昔建築講座 ①年2回以上開催(6月～) ②WEBサイトやSNS等での自主的な発信 ③参加者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 	①2回以上開催	未開催	-	・新型コロナウイルスまん延防止対策の為、開催中止としました。	・人気もあり、大倉山記念館の魅力や価値をアピールするには絶好の事業ですので、来年は必ず起こっていききたいと考えます。

令和3年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

4 広報・プロモーション活動、情報提供します。	1	マルチチャネル、多言語の広報を展開	<ul style="list-style-type: none"> ●施設紹介パンフレットの作成および情報発信 <ol style="list-style-type: none"> ①現状のパンフレットを参考に、当施設のパンフレットを刷新 ②パンフレットは館内で配布するほか、WEBサイトからのダウンロードも可能とする ③重要な箇所は、英語等の多言語での記載も検討 ●チラシの作成と新聞折込 <ol style="list-style-type: none"> ①催事や地域の季節の情報をお伝えするチラシを制作 ②チラシは、館内・商店街・最寄駅・近隣施設等で配布:年4回発行 ③新聞折込:年4回以上 	①実施	①実施	-	・当館ロケ地ガイドvol2を大倉精神文化文化研究所に監修いただき無料配布しました。大倉精神文化研究所作成の多言語ツールを配架・配布いたしました。	【成果】 ・若年層の取り込みが課題となっている当館ですが、今までフェイスブックで、旬の情報を配信しておりましたが、若年層へのアピール・取り込みを考え、若年層に多く利用されている「インスタグラム」への情報配信を始めました。
	2	サークル라운ジの設置	<ul style="list-style-type: none"> ●情報コーナーの設置 <ol style="list-style-type: none"> ①当施設の毎月の催事情報を掲示・配布。 ②周辺施設の文化事業の情報を収集し、掲示・配布 ③情報コーナーではサークル라운ジの開設 	①実施	①実施	-	・まん延防止対策が緩和されてきたのに合わせ、年度後半からコンサートの告知・アレンジメント講習の告知チラシなど多数作成し、商店街・大倉山駅などに配布した。折り込みに関してはコロナ禍の為、予定が定まらず本年は未実施となった	・紙媒体として、既存の施設利用案内のパンフレット1種、大倉山記念館の建築紹介のパンフレット1種(大倉精神文化研究所と共著・共用)に加え、「大倉山ロケ地ガイド」の配布を開始し、より多くの方々に大倉山記念館を楽しんでいただくよう努めました。
	3	大倉山コンシェルジュの配置	<ul style="list-style-type: none"> ●大倉山コンシェルジュによる情報提供 <ol style="list-style-type: none"> ①地域の情報に精通したスタッフの育成とお客様対応を実施。 ②地域や近隣学校の行事、集まりに積極的に参加・協働。 ③「まちの情報ステーション」として地域の情報を収集・発信。□年4回以上実施 	①実施	①実施	-	・商店街などから地域の情報を収集し、スタッフ間で共有しました。 ・コロナ禍もあり自粛	・地域の広報媒体(紙媒体、並びにWeb)との連携を継続的に行っていく。 ・記念館に送付いただくチラシの内容を整理・精査し、周辺施設の文化事業の情報をより分かりやすく掲示・配布しました。
	4	全国の店舗と自社WEBサイトで広範囲の広報展開を行う	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の利便性向上に向けての取組 <ol style="list-style-type: none"> (1)①新規WEBサイトの作成 (2)さまざまな利用者への配慮 ②ピアノやラジオカセットなどの有料貸出や車いす、机やイスの無料貸出 ③多言語での館内案内表示・アンケート実施など、外国人利用者へ配慮した取り組み (3)利用者のご意見を伺う仕組み作り ④館内の目に付きやすい場所に意見箱を設置 ⑤利用者アンケートを実施 ⑥大倉山ミーティングを開催 ●広報よこはま等へ掲載依頼および当グループの広報連携の取組 <ol style="list-style-type: none"> ①「広報よこはま」や港北区区民活動支援センター発行の「楽・遊・学」および地域フリーペーパー等への積極的な掲載依頼を実施 ②当グループのWEBサイトへのリンクや広報室を活用したプレスリリースによる広域の広報PRを実施 	①実施	①実施	-	・Instagram開始し若年層への告知を強化しました。 ・既存貸出し備品に加え、卓上装花・スポットライトの貸出を追加 ・大倉山ミーティングはコロナ禍により参加者が見込めなかった為未実施となった	・今年度は、コンシェルジュの設置を定着化が出来なかったが、来館が多く見こまれる事業に合わせた対応とした。次年度は、週末におけるコンシェルジュによる情報提供を実施、可能な限り出勤スタッフ定着化を図れるようにしていきたい(毎週末にての対応等)
	5	SNSやARなどのICTを活用した積極的なプロモーションを展開	<ul style="list-style-type: none"> ●ソーシャルメディアを活用した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> □Facebookでの情報発信 	1回/3日 以上	1回/5日	C	・Instagram開始し若年層への告知を強化しました。 ・コロナ禍により発信する情報が極端に少なかったため	【課題】 ・事業に応じた広域の広報を検討する。例えば、オープンデーなど文化財としての建物を紹介する機会には、より広域に周知する。
	6	地域や各団体と連携した広報を実施	<ul style="list-style-type: none"> ●関係機関等との連携によるPR活動 <ol style="list-style-type: none"> ①港北区区民活動支援センターでのPR活動 ②港北ボランティアガイドとの連携による見学ツアーを定期的実施 ③区民活動支援センターにおける利用案内体制の強化 ④港北国際交流ラウンジとの連携強化によるPR活動 	①実施	①実施	-	・横浜市発行の広報誌への積極的な掲載の他、『タウンニュース』『ASA大倉山』などの地域誌積極的に掲載しその他Web広報も強化	・今年度は、コンシェルジュの設置を定着化が出来なかったが、来館が多く見こまれる事業に合わせた対応とした。次年度は、週末におけるコンシェルジュによる情報提供を実施、可能な限り出勤スタッフ定着化を図れるようにしていきたい(毎週末にての対応等)
	7	市民が行う文化芸術活動に対する情報提供や専門家の紹介などを支援	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の文化活動団体へ支援 <ol style="list-style-type: none"> ①既存共催事業各団体との話し合いの上事業を実施 ②現状における課題や要望の解決や改善に尽力し事業の発展に貢献 ③地域の文化活動に関する情報収集 ④施設内情報コーナーを設置し地域の文化活動のパンフレットを配布 ⑤地域の文化活動団体の紹介コーナーで会員を募集 ⑥既存団体の中から希望する活動団体を紹介 	①実施	①実施	-	・オープンデーでは港北区区民活動センターとともに港北区に登録された『まちの先生』の制度を活用し、まちの先生の紹介やまちの先生による体験プログラムを実施することが出来た	・多言語案内について、紙媒体のツールは出来上がっているため、他言語で対応できるスタッフの雇用などを検討したい。来館されるご利用者様に対してでもなくプレゼンテーションできるよう、体制を整えたい。
	8	各種ガイドラインを遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●WEBサイトの新規作成 <ol style="list-style-type: none"> ①横浜市インターネット情報受発信ガイドラインを遵守し、新規WEBサイトを作成。 ②催しの情報や年度事業計画書・報告書をWEBサイトに掲載 ③施設の貸出状況、次回抽選日、各室の稼働状況をWEBサイトに掲載 	①実施	①実施	-	・Instagram開始し若年層への告知を強化しました。	
	9	施設の歴史、見どころをわかりやすく伝え、知識と教養の向上に定める	<ul style="list-style-type: none"> ●歴史的建造物への興味喚起に向けての取組 <ol style="list-style-type: none"> (1)配布用チラシ制作 ■大倉山精神文化研究所や横浜歴史資産調査会(ヨコハマヘリテージ)と連携し、配布用チラシを常備し、一般見学者や総合学習授業で来館する小・中学生に配布 	実施	実施	-	・大倉精神文化研究所監修「ロケ地ガイド」を作成・配布。 ・ジャズコンサートに合わせ、3階回廊にて「記念館90年の軌跡」を展示・継続中	

令和3年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価		
Ⅱ 施設運営目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 文化活動等への施設の提供(貸出業務への取組)を促進します。	市民・利用者の利便性と公平性、施設の維持に配慮し、関係者とともに策定する利用ルールの徹底で、どなたにもわかりやすく、いつまでも快適な施設利用を実現	(1)開館について ■開館日数347日、開館時間:9時～22時 休館日:計18日(施設点検:12日、年末年始:6日)	(1)実施	(1)実施	-	(1)電気施設更新・ホール照明LED化等があり、開館日数は少なくなっている。年間開館日 304日	【成果】 ・コロナ禍でのまん延防止対策の為、利用制限がかかり、利用率の向上には至らなかったが、土日を例に考察すると、比較的、全部屋利用していただいていることが多く、集中してご使用いただけるようになったのではと考えます。 ・新規利用者が継続して施設を利用しやすいよう、ご案内を徹底した。コロナ対策の換気機能強化のためホールでは、1時間ごとにサーキュレータを使用した換気をお願いをしました。天井の高いホール・集会室の室内温度については、扇風機を常設し、対流を起こし、室温の平均化ができるよう、工夫しました。	【評価できる点】 ・新型コロナウイルス感染症の影響で利用率は目標に届かなかったが、安全安心に利用できるよう感染症対策を適正に実施したことを確認しました。 ・施設内に匂いのある花や観葉植物を飾るなど、指定管理者の強みを活かした工夫に取り組み、施設の付加価値を創出していることを評価します。 ・スタッフの丁寧な対応、アンケートやお問い合わせの実現などが、利用者の高い満足度に繋がっていることを評価します。
		(2)利用料金について ■料金表による運用	(2)実施	(2)実施	-			
(3)利用者本位の貸出し業務の遂行 ■ご要望やご意見および対応内容の館内等への表示 ■ご要望やご意見の全スタッフの共有	(3)実施	(3)実施	-					
(4)駐車場の運営 ■安全に充分注意し、希望者ができるだけ駐車場を利用できるように臨機応変に対応 ■利用ルールの告知	(4)実施	(4)実施	-					
(5)全スタッフの統一された高レベルの巡回点検 ■毎日、開閉館時にチェックシートを用いて、駐車場の巡回点検を実施 □日常巡回点検の実施	(5)2回/日以上	(5)2回/日	B					
2 目標利用率(5年平均) ホール90%、ギャラリー99%、第1集会室78%、第2集会室90%、第3集会室63%、第4集会室71%、第5集会室79%、第6集会室62%、第7集会室76%、第8集会室58%、第9集会室71%、第10集会室84%		ホール :88% ギャラリー :99% 第1会議室:73% 第2会議室:87% 第3会議室:61% 第4会議室:70% 第5会議室:77% 第6会議室:61% 第7会議室:75% 第8会議室:54% 第9会議室:68% 第10会議室:82%	ホール :85% ギャラリー :82% 第1会議室:81% 第2会議室:47% 第3会議室:42% 第4会議室:80% 第5会議室:84% 第6会議室:69% 第7会議室:77% 第8会議室:35% 第9会議室:44% 第10会議室:85%	B	利用率においてはホール・ギャラリーを含めた12会場中半分の6会場(第1・4・5・6・7・10集会場)が達成。特に小集会室(第2・3・8・9集会室)が大幅未達であった(コロナ禍による影響大・キャンセル含む) (参考) 令和3年度年度利用者数:56873人 令和2年度年度利用者数:35242人	【課題】 ・全室での目標率の達成を目指す。 ・インスタグラムや、新規団体へのアプローチを行い、新規利用者の更なる開拓を行っていく必要がある。 ・新型コロナウイルスの影響下において『新しい生活様式』を鑑みた施設利用を検討していきたい。	【更なる取組を期待する点】 ・個人情報の取り扱いについて引き続き研修を行い、スタッフ全員が正しい取り扱いが出来る状態を維持してください。 ・人権研修について未実施となっています。研修は毎年行い、人権意識の向上に努めてください。 ・引き続き、大倉精神文化研究所や地域コミュニティとの良好な関係の維持を期待します。	
		1 公益性・公共性・利用者満足度の高いアイデア・ノウハウを積極的に提案し、施設や地域のファンを増やし、リピーター化を進める	(1)花とみどりによる清潔で潤いある環境を演出 ①施設入口に季節の花の寄せ植えやコンテナガーデンを設置 ②集会室や館内共有スペースに観葉植物を配置 ③トイレには生花や鉢物を配置し、環境美化に寄与 ④植物を通じて利用者や地域住民に環境保全啓発を実施	①実施 ②実施 ③実施 ④実施	①実施 ②実施 ③実施 ④実施			- - - -
2 利用促進・利用者サービスの向上及びアイデア・ノウハウの一層の活用を図ります。	2 苦情発生・要望への対応	(1)利用者ニーズに応じたさまざまなサービスの導入 ①アンケート調査・利用者懇談会などの利用者のニーズに迅速に対応して、運営にフィードバック ②各室利用者や事業共催者へ事前予約によるお弁当販売の実施を検討 ③各種貸出しグッズの提供や車いす、ベビーカーの無料貸出 ④館内に設置した授乳室をより快適で使いやすい環境に見直す ⑤催事開催時に子どもの預かりを行い、母親が安心して催事に参加できるサービスを検討 ⑥館内ベンチの増設を検討 ⑦施設のパンフレットや館内案内の多言語による表示を検討 ⑧英語等を話せる講師による催事を実施し、外国人も参加できるようにする ⑨地域の各種情報を発信する「まちの情報ステーション」としての役割を担う ⑩館内に災害時対応機能付きの自動販売機を設置	①実施 ②実施 ③実施 ④実施 ⑤実施 ⑥実施 ⑦実施 ⑧1回以上 ⑨実施 ⑩実施	①実施 ②未実施 ③未実施 ④実施 ⑤実施 ⑥実施 ⑦実施 ⑧1回 ⑨実施 ⑩実施	- - - - - - - B - -	③車いす・ベビーカーの貸し出しに関しては、館内の移動が出来ず、未実施となっているが、館外において置き場所の確保に努めました。	【課題】 ・利用者サービスの更なる向上を引き続き行う。 ・多言語案内について、観光施設ではなく市民利用施設としての在り方を模索・検討する。 ・新型コロナウイルス対策として新しい生活様式を鑑み、ソーシャルディスタンスに配慮した配置を行い、また集会室においては換気を考慮し、簡易網戸の設置も検討する。	

令和3年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

項目	内容	9名で運営			9名で運営			備考	結果								
		計画実施	計画実施		計画実施	計画実施											
3 組織的な施設運営(職員の確保、配置及び育成)をします。	1 施設の特性を熟知したスタッフによる安全・安心・快適を最優先に考えた運営組織を構築し、施設の顔として、利用者や地域住民・市民に最高の「おもてなし」を提供	(1)人材の配置について (2)勤務体制について (3)スタッフ研修 ①運営開始前および運営開始後の定期的かつ計画的な研修を実施 ■今年度は、接客接客や利用受付、緊急時対応等の基本的な内容の習得を目標とする ②新規人員研修:1回 ③基礎研修:年2回 (4)スタッフミーティングの開催 ④各種ミーティングを開催し、情報共有およびチームワークを醸成 朝礼・全体会議等、定期的なミーティングを開催	①実施	①実施	-	②1回実施	②未実施	-	③2回実施	③未実施	-	④実施	④実施	-	各種研修に関しては今年度まん延防止重点措置の施策により人員が不定期であったことと営業時間の短縮により研修を行うことが出来なかった(集合研修として)、毎日の朝礼・時間申し送り時に細かなイレギュラー対応を注視するように心がけた	【成果】 ・スタッフそれぞれが考える「おもてなし」を明確化し、実践した。たとえば、高齢の利用者には次回の利用予約の案内など積極的に声掛けし、利用率向上に繋がる取組を行った。 【課題】 ・情報、課題を共有し、さらなるチームワークを醸成する。 ・大倉山記念館の文化的価値の普及を目的とした、精神文化研究所との事業連携を強化、実施する。 ・地域の活動を知る機会を増やし、連携を強化する。	
	2 利用者や市民へ質の高いサービスを提供できる人材育成を行い、「顔の見える運営」を実践	(5)地域住民、地域の各種団体、関係機関等との連携体制の確立 ①地域住民へのお声かけなど、スタッフから積極的にコミュニケーションを図る ②ゴミ拾いや花植え活動など、明るく見通しの良い環境づくりに努める (6)大倉精神文化研究所との連携強化 ③日頃からスタッフ同士の積極的なコミュニケーションを図るための連絡調整会の開催 (7)地域の各種団体等との連携強化 ④大倉山地区連合町会や大倉山まちづくり実行委員会への加入を検討⇒町内会や地域の集会への参加 (8)官民協議体制の確立 ⑤連絡体制の強化	①実施	①実施	-	②実施	②実施	-	③月1回	③未実施	-	④4回	④未実施	-	⑤実施	⑤実施	-
4 本市の重要施策を踏まえた取組をします。	1 個人情報の適正な取り扱い	(1)個人情報保護への取組 ①代表団体が取得している、(財)日本情報処理開発協会(JIPDEC)の「プライバシーマーク」認証に準拠した個人情報保護に努める ②グループ内の個人情報保護窓口の管理のもと、法令遵守と情報の漏洩や不正アクセスなどによるデータ破損・盗難・改ざんなどのリスクを十分に理解した上で、取扱い方法・漏洩防止策を構築し、大倉山記念館の個人情報保護管理体制を構築 ③個人情報のリスク調査、管理台帳の作成、リスクチェックシートの作成を実施 ④全スタッフに対する個人情報保護研修および試験の実施	①実施	①実施	-	②実施	②実施	-	③実施	③実施	-	④1回	④1回	B	【成果】 ・個人情報保護研修を実施し各自テスト受験し、個人情報の取り扱いの考え方の確認と更新を行った。 ・実施事業における委託に関し、既存事業者を選定、新規の場合は市内事業者を選定し、地域連携の協力関係を構築した。 ・花苗の育成、代表企業の得意分野である、花と緑を通じた環境配慮を実施した。		
	2 適正な情報公開	(2)迅速で適切な情報公開 ①情報の公開にあたっては、市の情報公開条例を基本とした「情報公開規定」を策定し、適切な情報公開体制を確立 ②施設の管理運営に関する情報は、市民(利用者)からの請求(問い合わせ)があった時だけでなく、積極的に自主的な情報提供を行う	①実施	①実施	-	②実施	②実施	-								【課題】 ・本年度、「利用許可書」「領収書」の渡し間違えがあったため、事故後はお渡しする際に、ご利用者様と一緒に、「利用許可書申請書の読み上げ確認」「確認事項のレ点チェック」「利用許可申請書へ扱い者の記入」を行い、再発防止に努めている。 ・大倉山記念館の利用者サービスにおける個人情報の取り扱いの流れを整理し、「許可証渡し間違え事故」を撲滅し、より正確な個人情報保護に取り組む事を徹底してゆく。	
	3 人権の尊重	(3)人権尊重の取組 ①スタッフの採用にあたっては、男女の区別なく、適材適所の人材登用を進める ②障がい者雇用の促進を図るとともに、授産施設からの物品購入をはじめ、障がい者との共生に積極的に取り組む ③すべてのスタッフに対し、業務基本研修、人権研修等を実施 ④人権研修:年1回	①実施	①実施	-	②実施	②実施	-	③実施	③未実施	-	④1回	④未実施	-		③コロナ禍により次年度に延期の為 ④③同様にコロナ禍により次年度実施	
	4 環境への配慮	(4)環境への配慮 ①環境に配慮し、廃棄物発生抑制に努める ②「市役所ごみゼロ」「横浜市脱温暖化行動指針」「ヨコハマ3R」等市の施策や事業に協力する ③花苗の植え付けやグリーンカーテンの設置などを通じて、子どもたちをはじめ市民に環境学習機会を提供し、環境意識の啓発に努める	①実施	①実施	-	②実施	②実施	-	③実施	③実施	-					来季4月からCO2排出ゼロ電力へ移行する。	
	5 市内中小企業への優先発注	(5)市内中小企業振興の取組 ■横浜市中小企業振興基本条例に基づき、資材・消耗品等の購入や設備機器管理、定期点検等の委託業務は、市内中小企業等へ優先的に発注を行い、地域企業の育成に貢献する	実施	実施	-											記念館前の花壇用の花鉢仕入れを、市内業者へ変更した。「横浜市大倉山記念館ロケ地ガイドマップ」の印刷を市内業者へ発注	

令和3年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和4年度計画			実施状況		評価	
Ⅲ維持管理目標	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
1 施設及び設備の維持保全及び管理をします。	1 経験と実績を活かした的確な日常管理	(1)安全・安心できる施設の維持 ■①「業務の基準」の設備等保守管理項目を遵守し、日常的・定期的な施設点検を実施。必要に応じて緊急点検を実施 ■施設・設備維持管理の専門スタッフを配置 ②定期的な施設点検 ③建築物点検マニュアル及び建築物定期報告に準拠した点検	①実施	①実施	-	・まん延防止対策中も以後も、アルコール消毒は継続。ご利用者様が入れ替わるごとにアルコール消毒など除菌作業を行い、ご利用者様には安心してご利用いただけるよう努めました。	【成果】 ・点検チェックリストに則り、日常の点検を行いました。 ・維持・保全計画体制を継続構築することが出来ました。 ・清掃点検においてはダブルチェック体制を徹底して行い、美化に努めました。 ・記念館周りの落葉清掃においては、北部公園事務所との月例会議出席会議において情報共有をし、お互いを助け合うことで解決した。 ・駐車場での太めの枝が折れ落下する等発生したため、北部公園緑地事務所の皆様にご協力いただき、弱った枝の選定、大規模な伐採等を行っていただいたおかげで、台風・地震でも枝の落下事故はありませんでした。 ・緊急時に全スタッフが適切に対応できるよう、消防訓練・防災訓練等を実施していることが確認しました。 【課題】 ・年一回の自主点検のほか、事前の施設維持に努めている。 ・月一回の休館日においては、計画通りに項目別に維持管理を行うよう努めていく。また、より一層細かく確認するため、終日かけて行うよう協議していく。 【更なる取組を期待する点】 ・引き続き、北部公園緑地事務所と定期的な打合せを行い、情報交換やコミュニケーションをとり、安心して利用できる施設の提供を期待します。 ・横浜市の有形文化財であることから、修繕の内容によって、教育委員会事務局生涯学習文化財課と協議することが求められます。また、設備等の老朽化も進んでいることから、日常的により詳細な点検を行うことを期待します。	
			②月1回	②月1回	B			
			③1回	③1回	B			
	2 高い専門性を有する市内事業者による定期・法令点検の徹底	(2)中長期視点での施設・設備の維持管理計画の立案 ■①構成団体および市内の専門事業者が施設・設備を点検し、中長期視点での施設・設備の維持・保全計画を立案する ■修繕履歴から現状と課題の把握、部品調達先の確認する。 ②中長期計画の策定	①実施	①実施	-	こちらでの5年間の経験を活かし、トラブルが発生してから対応するだけでなく、日常の細かな管理・観察から、発生前から予測して対応する「予防保全」を心掛けることで、修繕費や消耗品費の圧縮に努めた。		
			②1回	②1回	B			
			(3)快適で安心できる環境の維持 ①「業務の基準」の清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、チェックリストを作成し、日常・定期清掃を実施 ②構成団体の専門家による日常点検チェックリストを作成し、日々、スタッフが巡回点検 ④樹木・公園設備等の点検管理 ①代表団体のグループ会社に所属する樹木医や造園施工管理技師士による植物の点検と日常手入れの助言を実施 ②樹木診断:年1回 ③「業務の基準」の公園管理項目一覧を遵守 ④北部公園緑地事務所との連携	(3)①実施	(3)①実施			-
				(3)②実施	(3)②実施			-
	3 どなたにも安全・安心で快適な空間を提供	(4)①実施	(4)①実施	(4)①実施	-	・観梅会時期における課題の共有と対策など、北部公園緑地事務所との毎月のミーティングによる連携により、利用者の利便性向上を目指す。同所との連携においては記念館側から提案を都度試み、実績以上に密接な関係が構築したが規模縮小に伴い共有のみとなる		
			(4)②年1回	(4)②未実施	-			
			(4)③実施	(4)③実施	-			
			(4)④実施	(4)④実施	-			
	2 小破修繕への取組を行います。	1 市の指定有形文化財であることを十分に理解し、横浜市文化財保護条例を遵守	(1)施設・設備の予防保全 ①過去の修繕履歴をしっかりと引継ぐ ②現状の把握、問題箇所の抽出、材料・部品等の調達先(メーカー等)の確立を行う	①実施	①実施	-		・専門知識を持つスタッフを常時配置し、専門的な事案等にも対応できる体制でのぞんでいます。
②実施			②実施	-				
2 予防保全に努め小破修繕を実施し、施設の長寿命化と経費削減を両立	(2)中長期視点での施設・設備の修繕計画の立案 ①引継ぎ期間中に構成団体および市内の専門事業者が施設・設備を点検し、中長期視点での施設・設備の修繕計画を立案 ②中長期修繕計画の策定:年1回	①実施	①実施	-	・予防保全の観点を持ち、日ごろの観察などから、早期に問題点を把握し対応することで、業務にダメージが少なく、且つ、コストも抑えられる。			
		②1回	②1回	B				
3 事故防止体制・緊急時(防犯)の対応・感染症対策等衛生管理を徹底します。	1 「利用者・地域住民の安全・安心」を第一に考えた予防的対策と緊急時対応体制の整備を実施	(1)「利用者・地域住民の安全・安心」を第一に考えた予防的対策 ①事故などの原因となる現象や状況(ハザード)をまとめた、ハザードマップを作成 ②防犯カメラの設置箇所について、適宜見直しを行う ③「港北AAA防犯情報メール」への登録 ④救急セットやAEDの配置及び保守運用を徹底 ⑤事象別のマニュアルの作成と研修や訓練による急病人への適切な対応 ⑥全スタッフの普通救命講習の受講 ⑦急な天候の崩れや光化学スモッグの発生などを施設やWEBサイトで告知 ⑧犯罪の起こりにくい施設環境を調え未然防止に努める ⑨消毒液を設置しインフルエンザ・ノロウイルス対策を徹底 ⑩トイレに手洗い方法の説明を掲示 ⑪手洗い方法の英語表記 ⑫外部委託スタッフを含む全スタッフへの研修および勉強会:年2回 (2)利用料金の確実な管理 ⑬事務所に、警備会社が提供する入金機を設置 (3)利用者の安全・安心の確保 ⑭スタッフによる定時巡回を実施 ⑮スタッフ不在となる時間帯は機械警備を行い、24時間の警備体制を構築 ⑯危険箇所の抽出を行いハザードマップを作成 ⑰ハザードマップによる日々の巡回を行う (4)全スタッフの統一された高レベルの巡回点検 ⑱毎日、開閉館時にハザードマップを基に作成したチェックシートを用いて、施設内の巡回点検 ⑲日常巡回点検	①実施	①実施	-	【成果】 ・都度ハザードマップ・まん延防止対策の新規作成をすることで、予防対策はできました。防犯カメラも設置検討を継続します。 ・コロナ対策・衛生面においては館内2ヶ所に消毒液の設置を継続しました。 ・現金管理においては入金機への入金による管理を継続、閉館時(22:00以降)は機械警備により管理へ移行。今後も継続作業としていく。 【課題】 ・ハザードマップを作成し、警備の確認もチェックシートにて確認するのもスタッフ各自が行うことなので、常に『ヒヤリ・ハット』の気持ちを全員にて共有するミーティングを持ち館独自の連絡帳にて記載し、その日出動してない人員への報告を徹底することを継続的に行うことを全員で行っていく(緊急連絡網の活用)。		
			②実施	②実施	-			
			③実施	③実施	-			
			④実施	④実施	-			
			⑤実施	⑤実施	-			
			⑥実施	⑥実施	-			
			⑦実施	⑦実施	-			
			⑧実施	⑧実施	-			
			⑨実施	⑨実施	-			
			⑩実施	⑩実施	-			
			⑪実施	⑪実施	-			
			⑫2回実施	⑫2回実施	-			
			⑬実施	⑬実施	-			
			⑭実施	⑭実施	-			
			⑮実施	⑮実施	-			
			⑯実施	⑯実施	-			
			⑰実施	⑰実施	-			
			⑱実施	⑱実施	-			
			⑲1日2回以上	⑲1日2回実施	B			

令和3年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

4 防災に対する取組を実施します。	1	情報の一元管理と市・本部との情報共有体制の構築および、緊急時の速やかな対応と施設被害の最小化、迅速な利用再開への対応	(1) 緊急時応体制の構築とマニュアルの整備 ① 防火管理者を配置 ② 防火計画書を作成し、消防署へ提出 ③ 横浜市防災計画に基づく対応マニュアルと連絡網を整備 ④ 連絡網は、市・区に提出 ⑤ 各関連機関の電話番号を事務所電話の短縮に登録・掲示 ⑥ マニュアルと連絡網は、携帯用冊子にし、スタッフは常に携帯 ⑦ 大規模災害等が発生した場合は、行政機関と協力し、迅速な利用再開に努める	①実施	①実施	-	【成果】 ・マニュアル・計画書・連絡網を作り行政各所への提出を継続しました。 【課題】 ・上記マニュアル・計画書・連絡網の作成のみならず、その活用においてスタッフ全員で共有してゆきます。 ・防災の観点からも休館日を利用しての消防訓練・防災訓練を実施し、非常時に備える心がけを養う事を継続案件としていきます。	
	2	積極的な人道的措置の実施、自発的な防災備蓄整備や地域と連携した共同防災体制の構築	(2) 日常における防災対策の実施 ① 防災・防火訓練を実施 消防・防火・防災訓練: 年2回 ② 災害用備蓄品を準備するとともに、リストを作って管理し、定期的に確認、備蓄を更新	①2回実施	①2回実施	B		
	3	利用者の安全確保を最優先に考えた対応	(3) 緊急時のためのスタッフ確保 ① 緊急時に迅速な現場対応ができるよう、近隣在住スタッフを確保 ② 利用者へ、避難導線をお伝えし、避難場所の指導 ③ 訓練により判明した課題をマニュアルに反映	①実施	①実施	-		
	1	電気主任技術者による適切な設備管理	(1) 当グループの電気主任技術者による維持管理 ① 自家用電気工作物の保安・監督を実施 ② 施設・設備維持管理の専門スタッフを配置 ③ 自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安監督業務を適正・的確に行う ④ 自家用電気工作物が、人体に危害を及ぼしたり物件に損傷を与えたりしないよう維持	①実施	①実施	-		【成果】 ・自家用電気工作物の保安・監督の委託を行いました。 ・前任者退職後、同等の電気工事士の有資格者を配置完了しました。 【課題】 ・上記取得者による小まめな日常点検を励行していく。
	②実施	②実施	-					
	③実施	③実施	-					
	④実施	④実施	-					

令和3年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和3年度計画		実施状況			評価	
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績		特記事項	自己評価	行政評価
1 指定管理料にのみ依存しない収入構造を構築します。	1 崑年度は、現行料金を維持。他施設の状況調査および利用者の声を聴き、次年度以降の料金設定を検討	(1) 安定した利用料金収入の確保 ①貸出情報をWEBサイトやSNSで発信し、稼働率の向上を図る ②定期的に利用者の声を聞き、その内容を可能な限り運営に反映 ③利用者と連携し、CDや自作のアート作品を販売する「物販」も積極的に実施	①実施	①実施	-	横浜市と協議していく予定であるが協議中であつたため未実施	【成果】 ・積極的なWEBサイトの活用(Instagram開始。ただ単にイベント案内だけでなく、記念館周りの歳時記的な季節感を伝えた)により新規ご利用者の発掘が出来た。 ・ご利用者のご意見は出来ることから可能な限り対応した。 ・一度利用された方に再度利用いただく、または、新しい利用者を紹介いただくなど、利用促進につなげることができた。	【評価できる点】 ・ロケ、撮影利用について、目標を達成し、指定管理料以外の収入を得たことを評価します。 ・SNSを活用して、情報発信、認知度向上に努めていえることを確認しました。 ・施設運営に対する利用者アンケートやご意見の迅速な反映など、リピーターの獲得に向けた取組を評価します。 ・「脱炭素」に向けた取組を確認しました。
	2 稼働率の向上と安定した収入確保を目指す	(1) ロケ・撮影利用の拡大 ■積極的な広報PRで、ロケや撮影の利用を増やし、収入確保につなげる ①メディア撮影・ロケ撮影協力 年間35件 ②フォトロケーション撮影協力 年間2件	①35件	①40件	A			
2 経費削減等効率的運営に努力します。	1 スタッフの効率的な運営によるコスト削減と施設の魅力や価値の広い発信による利用促進で収入増を図る	(1) 効率的・効果的な維持管理運営によるコスト削減 ①マルチジョブシステムを採用し、スタッフの効果的な配置と効率的な運用により、コスト削減に寄与 ②スタッフの定期巡回により、節電や空調管理を徹底 ③エネルギー管理を強化し、次年度以降の目標策定に役立てる	①実施	①実施	-	【成果】 ・スタッフ各自の意識向上とご利用者様の協力で削減できた(節電・節水) 【課題】 ・電力会社選定においては「脱炭素」をめざし、横浜市の入札・指定管理者取引電力会社へ見積依頼し、選定を行った。結果 電気料金の値上がりとなったが、令和4年度より移行してゆく。 ・スタッフ及びご利用者様のご理解の上、継続的に推進していく。		
	2 効率的な施設運営による経費削減策の実施	(2) 光熱水費の削減努力 ①日々の節電・節水・空調温度設定管理、可能であれば設備運転時間の変更を実施 ②設備の改善・修繕などの設備投資型省エネルギー対策(省エネルギー機器を更新導入)を可能な範囲で徐々に取り入れ、さらなる使用削減・コスト削減を目指す ③施設スタッフはもちろん、各室やトイレにも節電や節水への協力を依頼する案内等を掲示し、利用者にも呼び掛ける	①実施	①実施	-			
			②実施	②実施	-			
			③実施	③実施	-			

令和3年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和3年度計画			実施状況		評価	
V PDCAサイクルの確実な運用	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価	
PDCAサイクルの確実な運用	1 日報及び月報の作成・管理	(1)業務記録の整備 ①市と協議の上、日報および月報のフォーマットを作成、業務の記録と管理を適正に行う (2)業務内容の報告と共有 ②緊急を要するもの、重要な件は迅速に市に報告 ③日々の業務内容は本部サポート部隊も内容を把握、共有	①実施	①実施	-		【成果】 ・報告業務においては、不明な点はその都度市に確認することを励行。 【課題】 ・ご意見に対しての対応力が迅速でない案件もあるので、どの案件においても都度進捗報告に努めていきたい。	【評価できる点】 ・業務の基準等に基づき、適切に業務記録の整備、業務計画・報告の作成等が行われていることを確認しました。 【更なる取組を期待する点】 ・特筆すべき事項なし。
			②実施	②実施	-			
			③実施	③実施	-			
	2 業務計画書及び業務報告書の作成・管理	(1)業務計画書の確実な遂行 ①業務計画書に則り、計画的かつ確実に業務を遂行 ②実施した事業は報告書に記録し、管理 ③業務計画書と業務報告書は適宜、市へ報告 ④本部サポート部隊によるPDCAサイクルの推進 ⑤利用者の声を聞き取りニーズを反映した事業計画に刷新	①実施	①実施	-			
			②実施	②実施	-			
			③実施	③実施	-			
			④実施	④実施	-			
			⑤実施	⑤実施	-			
	3 業務評価(モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施)	(1)利用者や市民のご意見やご要望の集約 ①ご意見箱や利用者アンケート、電話等、いただいたご意見ご要望をデータで一元管理 ②いただいたご意見ご要望や全スタッフと本部サポート部隊が共有 ③いただいたご意見ご要望や市と共有 (2)セルフモニタリングの実施 ④現場スタッフおよび本部サポートによるセルフモニタリングを実施 ⑤セルフモニタリングの内容は市と共有 (3)執行状況確認会議の実施 ⑥執行状況について現場と本部が確認する「執行状況確認会議」を開催 (4)ご意見やご要望の施設運営への反映 ⑦いただいたご意見やご要望は基準を設け、市と協議の上、施設運営に反映 ⑧反映した内容を広く公表し、その内容についてのモニタリングを実施し、PDCAサイクルが適切に運用する環境を整備	①実施	①実施	-			
②実施			②実施	-				
③実施			③実施	-				
④実施			④実施	-				
⑤実施			⑤実施	-				
⑥月1回開催			⑥月1回開催	B				
⑦実施	⑦実施	-						
⑧実施	⑧実施	-						

評価項目		令和3年度計画			実施状況		評価		
VI 留意事項	指定管理者提案(要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価		
留意事項	1 保健及び損害補償の取り扱い	(1)施設賠償責任保険への加入 ①利用者が安全・安心に利用できる施設であることを保証 ②事故の発生がないよう努める	①実施	①実施	-		【評価できる点】 ・計画通り実施。 【改善が必要と考えられる点】 ・特になし。	【評価できる点】 ・業務の基準等に基づき、適切に施設の提供を行うとともに、関係機関等への対応等を行っていることを確認しました。 【更なる取組を期待する点】 ・引き続き、近隣の皆様のご迷惑にならない施設運営を心掛けてください。	
			②実施	②実施	-				
	2 関係法令などの遵守	(1)適切な許可及び届出等 ①観梅期など多くの来場者が見込まれる期間においては、飲食物の販売などが予想されるため、届け出などを行う ②共催事業も含め、必要となる届出を的確に対処 ③市から目的外使用許可をいただき、利用者と連携し、CDや自作アート作品を販売する「物販」も積極的に実施	①実施	①実施	-				・横浜市と協議中に伴い未実施
			②実施	②実施	-				
			③実施	③実施案件なし	-				
	3 市及び関係機関等との連絡調整	(1)協力・協調関係の構築 ①横浜市文化振興課、地域の市民団体、文化団体、区民活動支援センター、小中高等学校、商店街連合会、各関係機関等と定期的な情報交換を行い、協力・協調関係を築き、信頼関係を深め、地域との連携体制を確立、特に(公財)大倉精神文化研究所及び北部公園緑地事務所とは緊密な関係を築き、施設の運営に支障がないよう努めます ②関係機関の連絡網を整備し、必要に応じて決定事項を伝達する仕組みを構築 ③(公財)大倉精神文化研究所及び北部公園緑地事務所との連絡	①実施	①実施	-				
			②実施	②実施	-				
			③毎月実施	③実施	-				
	4 その他	(1)近隣対策 ①撮影協力時に、騒音や撮影行為等によって施設利用者や近隣住民に迷惑が及ぶことがないよう努める ②施設外観等を利用する撮影協力の際は、施設利用者及び近隣住民への事前説明を行う ③施設屋外や公園を使ったイベントや事業を行う際には、施設利用者及び近隣住民への事前説明を行う ④大倉山ミーティングにお声がけし、施設に対するご意見やご要望をお伺いする (2)備品のリスト ⑤常に最新リストに更新して管理点検を実施	①実施	①実施	-				内容説明文を事前投函を継続 コロナ禍の為、皆さま自粛のため未実施
			②実施	②実施	-				
			③実施	③実施	-				
			④実施	④未実施	-				
⑤実施			⑤実施	-					

令和3年度 大倉山記念館 指定管理者業務評価表(自己評価・行政評価)

※実績のチェック欄(数値目標のみ記載)について: 目標に対し+10%超の実績→「A」、目標に対し±10%内の実績→「B」、目標に対し-10%を下回る実績→「C」

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価	
その他	特記(提案事項要旨)	達成指標	目標	実績	特記事項	自己評価	行政評価
	1						

評価項目		令和3年度計画		実施状況		評価	
総括	特記(提案事項要旨)	達成指標		特記事項		自己評価	行政評価
	1					<p>指定管理6年目である今年度においては、「コロナ対策」「大倉精神文化研究所との連携」「大倉山記念館90周年行事の実施」「コロナ収束後の通常状態の復元」などを心掛け、指定管理者としての強みである『花』をテーマとした自主事業を継続するとともに、90周年に合わせ、大倉精神文化研究所様のご協力をえて、「記念館90年の歴史」展示を「大倉山音楽祭 聞楽亭ジャズコンサート」と同時開催し成功させたことで、大倉山記念館の価値創出を実践しました。</p> <p>撮影に関しても誘致に結び付けられるよう積極的に注力してきましたが、数値的には厳しい結果(件数は目標達成も収納額が未達)となってしまったため、今後は有料のドラマ等の撮影シェアの上昇を図りたいと思います。</p> <p>また、アンケート満足度においては目標値を達成することが出来ました。アフターコロナにおいても利用者にとって有益な方法は何か(リモート会議などの部屋としての集居室利用等)をスタッフ全員で考えていきます。</p> <p>次期につなげ、地域の皆様に愛される記念館を目指し、PDCAのサイクルを記念館職員全員で共有しご利用者の皆さまに満足していただける、より良い事業を目指していきます。また、ご利用者様の高齢化が進んでいる現状を鑑み、新規ご利用者様獲得の為、Instagramの開始など、対策を講じてゆきたいと考えております。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が続いた1年でした。利用率は目標を達成できませんでしたが、これまでのノウハウにより安心安全の施設運営が継続されたことを評価します。感染症の影響で中止や利用人数の制限による縮小開催を余儀なくされる一方で、感染症対策の上、文化活動の継続に努めていることが確認できました。「フラワーアレンジメント教室」や、「オープンデイ」の開催など、地域コミュニティとの連携や指定管理者の強みを活かすことで、施設のプレゼンス向上に繋がっていることを評価します。また、文化財である施設の特性を生かし、撮影誘致について積極的に取り組んでいることを評価します。施設の管理運営については、引き続き適正に維持管理し、速やかに修繕対応等の検討が進められるよう、関係者への情報共有を行ってください。</p> <p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響が少なると予想されますので、市民の文化活動の回復に向け、事業の継続を期待します。培ってきたノウハウを生かし、より多くの市民に愛され親しまれる施設を目指してください。</p> <p>引き続き、地域や港北区の文化の発信拠点として、現在実施している事業の継続だけでなく、市内の他の文化施設や文化団体を中心とした様々な団体等との連携を進め、文化的 commons の形成をさらに推進することを期待します。</p>